

(トップページ: <http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/> )

(MENAランキングシリーズ: <http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/MENAranking.html> )

マイライブラリー:0370

(注)本稿は 2016 年 2 月 4 日から 15 日までの 4 回にわたり「アラビア半島定点観測」に掲載したレポートをまとめたものです。

2016.2.16  
前田 高行

## シリア、イエメンなど MENA4 カ国が評価不能に転落: 腐敗認識指数(2015年版)

(MENA なんでもランキング・シリーズ その14)

目次	頁
1. 「Corruption Perception Index (腐敗認識指数)」について	2
2. MENA 諸国のCPI指数と順位	2
3. 2011－2015年の世界順位の変化	3
4. MENA5カ国と日本の CPI 指数の変化(2011～2015年)	4

中東北アフリカ諸国は英語の Middle East & North Africa の頭文字をとって MENA と呼ばれています。MENA 各国をいろいろなデータで比較しようと言うのがこの「MENA なんでもランキング・シリーズ」です。「MENA」は日頃なじみの薄い言葉ですが、国ごとの比較を通してその実態を理解していただければ幸いです。なお MENA の対象国は文献によって多少異なりますが、本シリーズでは下記の 19 の国と 1 機関(パレスチナ)を取り扱います。(アルファベット順)

アルジェリア、バハレーン、エジプト、イラン、イラク、イスラエル、ヨルダン、クウェイト、レバノン、リビア、モロッコ、オマーン、パレスチナ自治政府、カタール、サウジアラビア、シリア、チュニジア、トルコ、UAE(アラブ首長国連邦)、イエメン、

これら 19 国・1 機関をおおまかに分類すると、宗教的にはイスラエル(ユダヤ教)を除き、他は全てイスラム教国家であり OIC(イスラム諸国会議機構)加盟国です。なおその中でイラン、イラクはシーア派が政権政党ですが、その他の多くはスンニ派の政権国家です。また民族的にはイスラエル(ユダヤ人)、イラン(ペルシャ人)、トルコ(トルコ人)以外の国々はアラブ人の国家であり、それらの国々はアラブ連盟(Arab League)に加盟しています。つまり MENA はイスラム教スンニ派でアラブ民族の国家が多数を占める国家群と言えます。

第14回のランキングは、汚職追放を目指す世界の NPO 法人 Transparency International(略称:TI、本部ベルリン)が毎年発表している「Corruption Perception Index(腐敗認識指数)」について MENA

諸国をとりあげて比較しました。

\* ホームページ

TI 本部: <http://www.transparency.org/>

日本支部: <http://www.ti-j.org/>

## **1. 「Corruption Perception Index (腐敗認識指数)」について**

Corruption Perception Index(CPI, 腐敗認識指数)は、公務員と政治家がどの程度腐敗しているか、その度合いを国際比較し、国別にランキングしたものである。ベルリンに本部のある NPO 法人 Transparency International(TI)が手がけており、日本にはその支部「NPO 法人トランスパレンシー・ジャパン」がある。

CPI は1995年に第一回の指数を発表、今年で21回目である。調査当初は対象国が41カ国、調査内容も7種類と小規模であったため、各国からは調査結果に対する不満が出たが、回を重ねるに従い内容の信頼性も高まり対象国も昨年までの数年間は180カ国前後に拡大した。しかし今回は対象国が昨年より22カ国も少ない153か国にとどまっている。MENA 地域でも昨年までは対象国が19か国(パレスチナ自治政府のみ除く)であったが、今回の調査対象国は15カ国にとどまり、シリア、イエメン、リビア及びイラクの4カ国が評価対象から外されている。4カ国はいずれも程度の差はあれ内戦状態にあり、腐敗認識度の調査が不可能であったためと考えられる。

評価は各国の実業家或いは分析専門家など実務で腐敗の現場に直面している人々の経験や認識に基づくアンケートを統計処理したものであり、CPIは0から100までのスコアで国を採点している。0点は最も腐敗していると考えられる国を、100点は最も透明性が高い国であることを示している。

## **2. MENA 諸国のCPI指数と順位 (末尾表 14-T-01 参照)**

2015年度の腐敗認識指数はMENA諸国ではイラク、シリア、イエメン、リビア及びパレスチナ自治政府を除く15カ国が評価対象となっている。最も腐敗度が低いと評価されたのはカタールであり、同国のCPI指数は71、世界順位は22位である。これは日本(CPI 指数75、世界順位18位)、米国(同、76、16位)よりは低いが、フランス(同70、23位)よりも上位である。

カタールに次ぐ MENA 第2位は UAE(CPI指数70、世界順位23位)、3位はイスラエル(同61、32位)である。これら3か国より少し順位が下がるのは、ヨルダン(同53、45位)、サウジアラビア(同52、48位)及びバハレーン(同51、50位)であり、これら5か国が世界50位以内である。以下クウェイト(同49、55位)、トルコ(同42、56位)、オマーン(同45、60位)、チュニジア(同38、76位)までが世界153か国の上位グループに入っている。

MENA11位以下ではモロッコ、エジプト及びアルジェリアが共に CPI 指数36、世界88位で並んでいる。レバノン及びイランは世界100位以下でそれぞれ123位及び130位である。イランは MENA では最も順位が低いが、先に述べた通りシリア、イエメン、リビア及びイラクは今回評価対象となっ

ていない。因みに昨年 MENA で最も順位が低かったのはイラクの170位であり175か国中でも最下位に近かった。

MENA1位及び2位のカタール、UAE を含めMENA上位9カ国のうちイスラエル(MENA2位)とトルコ(同8位)の2か国のみが共和制国家であり、残る7カ国はいずれも絶対君主制(王制、首長制、スルタン制)国家である。さらに7か国中ヨルダンを除く6か国は GCC(湾岸協力機構)を構成するアラビア湾岸諸国である。このことから MENA では絶対君主制国家が清潔であり、共和制国家が腐敗しているということが言えよう。CPIレポートは「貧困と腐敗の間には強い相関関係がある」と指摘しており、上位にUAE、カタールなどのGCC産油国或いは経済力の強いイスラエルが並んでいることはレポートの指摘を裏付けている。

CPI 指数及び世界順位を昨年のそれと比較すると、指数ではトルコ及びモロッコが3ポイント下落、またチュニジアは2ポイント、エジプトが1ポイント下がっている。但し世界順位で見るとモロッコが80位から88位に落ちている以外は、すべての国が昨年より順位を上げており、トルコは CPI 指数が3ポイント下がっているにもかかわらず順位は逆に64位から53位に上がっている。順位が最も大きく上昇したのはレバノンで同国の世界順位は2014年の136位から2015年は123位にアップしている。その他にもクウェイト、アルジェリア及びヨルダンの各国は10位以上ランクを上げている。これは調査対象国数が175カ国から153か国に大幅に減少したことが大きな要因であると考えられる。

因みに世界でCPI指数が最も高い国(即ち腐敗度が最も低いとされた国)はデンマークでそのCPI指数は91である。また日本(CPI指数75、世界18位)及び米国(同76、16位)は既に述べたとおり MENA トップのカタールよりも高い。そして中国はCPI指数37、世界順位83位であり、エジプトあるいはアルジェリアとほぼ同じレベルである。

### **3. 2011－2015年の世界順位の変化 (末尾表 14-T-02 参照)**

2011－2015年の各国の MENA 順位及び世界順位の変動を見ると、過去5年間カタールとUAE がトップの座を争っている。即ち2011年はカタールが世界22位、MENA1位であったが、翌12年には両国は共に世界27位で MENA トップを分け合った。その後2013－14年はUAE は世界26位、25位でありカタールの世界28位及び26位を上回った。しかし2015年にはカタールが世界22位、UAE は世界23位でカタールが再び MENA トップに返り咲いている。5か年間を通じて両国は共に世界20位台を維持しており他の MENA 各国に比べて清潔度では安定した高い評価を得ている。

カタールおよび UAE に続くのはイスラエルであり同国は過去5年間を通じて MENA3位である。同国の世界順位は36位(2011年)→39位(2012年)→36位(2013年) →37位(2014年) →32位(2015年)と世界30位台を維持している。

これら3カ国に続くヨルダン、サウジアラビア、バハレーン、クウェイト、トルコ及びオマーンの各国は40位～60位台を上下している。因みにサウジアラビアは57位(2011年)→66位(2012年)→6

3位(2013年) →55位(2014年) →48位(2015年)であり、またトルコは61位(2011年)→54位(2012年)→53位(2013年) →64位(2014年) →56位(2015年)である。

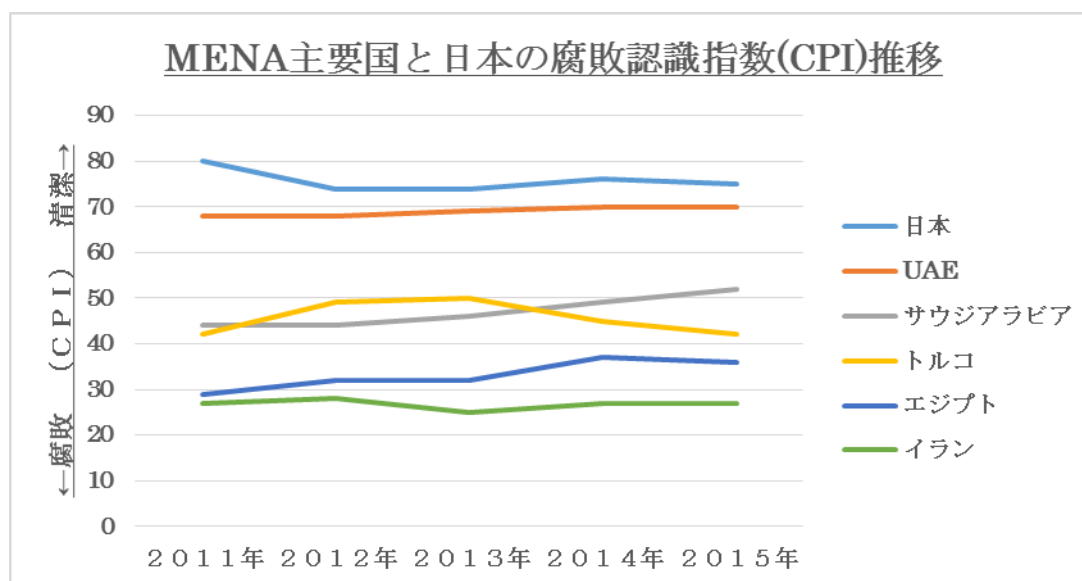
以上9か国のうちイスラエルおよびトルコを除く7か国は君主制国家であり、MENA では君主体制が一貫して腐敗度が低いとされていることがわかる。

今回クウェイトに次ぐ順位であったチュニジアは5年間を通じて MENA10位である。同国の世界順位は73位(2011年)→75位(2012年)→77位(2013年) →79位(2014年) →76位(2015年)と世界70位台後半が続いている。またモロッコもほぼ世界の80位台を維持し5年連続で MENA 11位である。

アルジェリア及びエジプトはモロッコと同じく今回は世界88位であったが、過去4年間は100位以下のことが多かった。今回順位がアップしたのは対象国の数がそれまでの175か国以上から153か国に大幅に減っており、対象外となった国の多くがランクの低い国であったことが影響していると考えられる。MENA でもシリア、イエメン、リビア、イラクなど従来から世界ランク低位に低迷していた国々が今回は評価の対象から外れている。

このことは MENA の平均世界順位の推移からも読み取れる。MENA の平均順位は88位(2011年)→91位(2012年)→94位(2013年) →91位(2014年) →66位(2015年)であり、この間の対象国数は183か国(2011年)→174か国(2012年)→177か国(2013年) →175か国(2014年) →153か国(2015年)であり、2015年に急激にランクアップしている。しかも過去4年間はいずれも世界の低位グループにとどまっていたが、今回は上位グループ(153か国中の66位)に入っている。世界ランクが特に低いイエメンなど4か国が外れたためである。

#### 4. MENA5カ国と日本の CPI 指数の変化(2011～2015年)



UAE、トルコ、サウジアラビア、エジプト、イランの5か国に日本を加えた2011年から2015年まで

の CPI 指数の変化を比較すると、UAE は2011年の CPI 指数68が2015には70にわずかではあるが改善している。この間日本は80(11年)→74(12年)→74(13年)→76(14年)→75(15年)と2011年から2012年にかけて急落した後、70台半ばで停滞しており、両国の差は2011年の12ポイントから2015年には5ポイントに縮まっている。

トルコの場合は42(11年)→49(12年)→50(13年)→45(14年)→42(15年)であり2013年が過去5年間で最も良く、2015年は5年前の2011年の水準に逆戻りしている。サウジアラビアは2011年から2013年までは40台半ばで推移していたが、2014年、2015年と2年連続で腐敗認識度が改善しトルコを追い抜いている。

エジプトは29(11年)→32(12年)→32(13年)→37(14年)→36(15年)であり2011年以降改善の兆しが見られる。イランは27(11年)→28(12年)→25(13年)→27(14年)→27(15年)と20台後半に低迷しており腐敗度は高いままである。

(完)

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行 〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601  
Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642  
E-mail; maeda1@jcom.home.ne.jp

### 腐敗認識度指数(Corruption Perception Index)

	国名	2014年		2015年		2014年/2015年	
		CPI Score	世界順位	CPI Score	世界順位	CPI Score	世界順位
1	カタール	69	26	71	22	2	4
2	UAE	70	25	70	23	0	2
3	イスラエル	60	37	61	32	1	5
4	ヨルダン	49	55	53	45	4	10
5	サウジアラビア	49	55	52	48	3	7
6	バハレーン	49	55	51	50	2	5
7	クウェイト	44	67	49	55	5	12
8	トルコ	45	64	42	56	▲ 3	8
9	オマーン	45	64	45	60	0	4
10	チュニジア	40	79	38	76	▲ 2	3
11	モロッコ	39	80	36	88	▲ 3	▲ 8
12	エジプト	37	94	36	88	▲ 1	6
13	アルジェリア	36	100	36	88	0	12
14	レバノン	27	136	28	123	1	13
15	イラン	27	136	27	130	0	6
	イラク	16	170	-	-	-	-
	リビア	18	166	-	-	-	-
	パレスチナ自治区	-	-	-	-	-	-
	シリア	20	159	-	-	-	-
	イエメン	19	161	-	-	-	-
	(MENA 平均)	40	91	46	66	-6	-25
	デンマーク	92	1	91	1	1	
	日本	76	15	75	18	1	3
	米国	74	17	76	16	-2	-1
	中国	36	100	37	83	-1	-17
	(全対象国数)		175		153		
	(内 MENA 対象国数)		19		15		

Source:Transparency International

(インターネット URL : <http://www.transparency.org/cpi2015>)

### MENA ランク14 腐敗認識度指数世界ランク、2011～2015年

国名	世界順位				
	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
	183カ国	174カ国	177カ国	175カ国	153カ国
カタール	22	27	28	26	22
UAE	28	27	26	25	23
イスラエル	36	39	36	37	32
ヨルダン	56	58	66	55	45
サウジアラビア	57	66	63	55	48
バハレーン	46	53	57	55	50
クウェイト	54	66	69	67	55
トルコ	61	54	53	64	56
オマーン	50	61	61	64	60
チュニジア	73	75	77	79	76
アルジェリア	112	105	94	100	88
エジプト	112	118	114	94	88
モロッコ	80	88	91	80	88
レバノン	134	128	127	136	123
イラン	120	133	144	136	130
シリア	129	144	168	159	-
イエメン	164	156	167	161	-
リビア	168	160	172	166	-
イラク	175	169	171	170	-
パレスチナ自治政府	-	-	-	-	-
(MENA 平均)	88	91	94	91	66
(世界 1 位)	ニュージーランド	デンマーク/フィンランド/ニュージーランド	デンマーク/ニュージーランド	デンマーク	デンマーク
日本	14	17	18	15	18
米国	24	19	19	17	16
中国	75	80	80	100	83
(世界最下位)	北朝鮮/ソマリア	アフガニスタン/北朝鮮/ソマリア	アフガニスタン/北朝鮮/ソマリア	北朝鮮/ソマリア	ウズベキスタン

Source:Transparency International

(インターネット URL:

<http://cpi.transparency.org/cpi2015/>)